

Q&A 集 No.11

(Q14～Q16) 2025 年 3 月 29 日から公開

Q14 「第 6 巻 第 52 章 Q1 と A1」で、

「銀河霊の輪廻転生・再生のサイクルは、2 億年に 1 度です。」

と書かれています。

と、なると 2 億年間で、類魂内の 1000 億の全銀河霊が地上に降誕することになります。なので、 $(1000 \text{ 億 (人)} \div 2 \text{ 億 (年)} = 500 \text{ 人 / 年})$ ですから、常時 500 人（銀河霊体）ほどが地上に降誕して人間的姿で過ごすことになります。

1000 億の 2 乗数の全銀河霊体で観ると、常時（500 霊体×1000 億銀河霊団＝）50 兆もの膨大な霊体が地上で過ごすことになります。

これらの、霊体が全員地球で過ごすことはできません。となると、彼らはどの惑星で過ごすのでしょうか？

A14

シルバーバーチとバーバネル これも、私たちがお答えいたします。

質問者がおっしゃるとおり、地球に降誕する銀河霊はほんの一部で、大部分は、恒星霊界の惑星に降誕します。

同様に、恒星霊の大部分は惑星霊界の惑星に、惑星霊の大部分は人霊界の惑星に、人霊の大部分は動物に、動物霊の大部分は植物に、植物霊の大部分は細菌類に、細菌類の大部分は物質に、物質の大部分は想念の姿で降誕するのです。

それは、なぜか？

銀河霊は、恒星霊たちが速やかに銀河霊に進化できるように、恒星霊は、惑星霊たちが速やかに恒星霊に進化できるように、・・・、物

質は、想念たちが速やかに物質に進化できるように、です。

つまり、自己犠牲の精神で、下の階層へ降誕するのです。

皆様は、この話を聞かれて「そんな馬鹿な！」と思うかも知れませんが事実なのです。

では、皆様に納得していただけるよう細心の注意を払いながら説明します。

霊体の本来の^{すみか}住処は、霊界なのです。地上世界は仮の住まいで、かつ、修行の道場です。

たとえば、銀河霊にとって、銀河霊界で過ごす期間は2億年であるのに対して、恒星霊界での地上（惑星での）生活は150年ほどの短期間です。

・・・（恒星霊と惑星霊の地上生活については省略）・・・

人霊が動物の姿で降誕するときは、地上の人間にとって^{ゆうえき}有益な動物、ハッキリ申しあげますと、ペットのワンちゃんや、ニャンちゃんや、小鳥や、・・・や、^{もろどうけん}盲導犬で、^{じゅみょう}寿命は数年です（人霊の霊界での生活期間は200年ほど）。

動物霊が植物の姿で降誕するときは、動物たちに有益な植物で、寿命は1年未満です（動物霊の霊界での生活期間は100年ほど）。

植物霊が細菌類の姿で降誕するときは、植物霊以上の霊格霊体に有益な細菌類で、細菌類の姿で過ごす期間は、数日ほどです（植物霊の霊界での生活期間は100年ほど）。

細菌霊が物質の姿で降誕するときは、細菌類以上の霊格霊体に有益な物質（水や空気等）で、物質の姿で過ごす期間は、数年です（細菌霊の霊界での生活期間は100年ほど）。

物質霊が想念の形で降誕するとき、全霊体に有益な善想念で、想念の形で過ごす期間は、数年です（物質霊の霊界での生活期間は100年ほど）。

下層界へ降誕した銀河霊や恒星霊や惑星霊は、国王や独裁者の人生を歩むことはなく、苦学と努力と自己犠牲の道を歩み、その惑星に住む全霊体の幸せと平和のために貢献する健気な人生を送ります。

このように、霊界も物質界の宇宙も、多くの霊体たちの自己犠牲＝愛の善想念によって、暖かく包まれている世界なのです。

多くの銀河霊は、本来、迷える地上人類（＝いつまでも悟れず敵対するものたちと殺し合っている銀河霊）を救済するために＝自己犠牲の精神で、地球に降誕したのですが、この目的を忘れ、「第6巻 第52章 Q7とA7」に、

＊

「第21章 1 まんじゅうを分かち合う」に登場する、Y、D、Xさんのように、（銀河）霊界では、衰弱したGさんを優しく介護するほど心清らかでも、地上に降誕し、耐え切れないほどの空腹感を覚えると、まんじゅうを1個手元に引き寄せて（≡犯罪に走って）しまいます。しかも、霊界と輪廻転生・再生の存在や、正しい真理と摂理の働きを知らないため、1度切りの人生だから、できるだけ謳歌しようと考へて、「領土や食料やお金がもっと欲しい」と叫んで争ってしまいます。

＊

と、書かれているように、「ミイラ取りがミイラになる」形で、自分自身も、「敵対するものたちと殺し合う人生」を歩んでしまい、善良な銀河霊たちが、血と汗と涙を流しながら創った、道路や橋や建物を空爆などで破壊してしまっているのです。

地上の銀河霊の皆様が、地上に降誕した本来の目的に目覚めてくだ

さることを願いながら、当該質問に対する回答は以上とします。

Q15 「靈訓」と「虹の掛け橋」には、「地球は修行の道場としては下から 2 番目に低い靈格の集まる場所」と紹介されていますが、これが事実だとしたならば、最も低い靈格の集まる場所とは、どのような惑星・世界なのでしょう？

A15

シルバーバーチとバーバネル これも、私たちがお答えいたします。

地球は銀河靈たちが降誕する修行道場ですが、人靈界の地上人間（つまり、言語と道具と火を使える生命体）の靈格と比較すると、現在の地球の地上人類は、全宇宙の中で、下から 2 番目に低い靈格です。

では、なぜそうなっているのか？

創造主である第一靈の指示で、宇宙靈たちが、宇宙の全生命体の進化の経緯を統率している結果、そうなっているのです。

靈界と宇宙の全生命体は基本的に、自身がとった行為の報い、善因善果悪因悪果（=褒美と福德、と天罰）は自身で受けるのが基本です。

しかし、銀河靈たちは、1000 億の 2 乗数全員（の総意・契約）で、褒美と福德を分かち合い、そして罪を償い合っています。

理由は、「虹の掛け橋」の複数個所で説明されているとおりです。

なお、恒星靈界では、銀河靈界を手本にする考えが主流ですから、基本的に、褒美と福德を分かち合い、そして罪を償い合っている惑星が大部分です。

一方、惑星靈界と人靈界は、天罰は己自身で速やかに受けるため、

たとえば、他の生命体に苦しみを与えると、同等の苦しみが直ぐ自身に返ってくるため、全生命体が、弱者をいじめることも、領土問題で争うこともありませんので、^{するど きば つめ}鋭い牙や爪を持った生命体も存在しませんし、戦争等による絶滅の心配もなく、かつ、犯罪が^{よくし}抑止されて、平和で調和と秩序が形成された世界です。

そして、人霊が宿って間もない、今は、最も霊格の低い若き人霊たちの惑星であっても、あつと言う間に現在の地球の地上人類の霊格を越えてゆきます。

このように、次々に生まれる若き人霊たちの惑星は、一時的に最下位の霊格者たちの惑星であっても、あつと言う間に地球の地上人類の霊格を越えてゆくことになります。

しかし、惑星霊界と人霊界は、自己責任と自力解決の意識が強く、困った人がいても、その人自身の修行課題であると捉え、^{とら}基本的には「捨て置き」の世界です。つまり、自己犠牲の精神が希薄な世界なので、なかなか恒星霊に進化できないのです。

これに対して、地球は、銀河霊^{から}→宇宙霊→第一霊に進化するための物質界での最後の修行道場です。

第一霊の指示で、全生命体の進化の経緯を統率する宇宙霊たちは、人類の霊界通信力を^{あらかたうば}粗方奪ったうえで、地球上に鋭い牙や爪を持った生命体（や体内に毒素を持つ細菌類や種物類や魚類や^{こんちゅう}昆虫類や^{はちゅう}爬虫類）を配し、地上人類に、これらの生命体と戦う感情、つまり敵対意識を植え付け、彼らと戦うための武器（^{はもの}刃物や^{じゅう}銃など）を与えました。

やがて、彼らを征服し、コントロールできるようになると、人類同士で戦い始めるようになりました。

人類は、他の生命体を傷つけても、命を奪っても、天罰である報いを、霊界の銀河霊たちが背負ってくれるため、罪の報いを受ける摂理

の働きの存在に気づけず、敵対するものたちと殺し合いを続ける、現在の地上世界が形成されることになったのです。

このような敵対意識をどこまでも助長^{じょちょう}させてゆくと、やがて核戦争による人類絶滅の未来が待っていることに気づいた、賢明な銀河霊たちによって、「敵対意識を愛と共存の精神に変えてゆかなければならない」と言う、真理的思考が人類に芽生え始めてきます。

しかし、人類全員で知恵を出し合っても、領土問題等の争いをなかなか解決できずに苦しんでいる状況を観た第一霊は、自ら地上に降誕し、「虹の掛け橋」を書き、その中で、『「小さい人、弱い人、不幸な人」が、「大きい人、強い人、幸せな人」に、「大きい方、好ましい方、楽な方を譲る」と言う紫金律^{しごんりつ}を、地上人類全員で実践しなければ領土問題は絶対に解決できないように、宇宙を創造したのです。』と、説いている訳です。

第一^{たかちゃん}霊は、全霊体の自由意思を尊重しますので、どのような未来を選択するのか、つまり、敵対するものたちを抹殺^{まっさつ}するまで戦い続ける核戦争による絶滅の未来を選択するのか、許し合い・助け合う・平和的共存の未来を選択するのかは、人類の皆様の自由意思に委ねられております。

彼は、皆様が高度に進化した殺戮兵器^{さつりくへいき}を用いた戦争によって絶滅することがないように、理由・説明を付しながら、肅々^{しゅくしゅく}と真理の道を「虹の掛け橋」に書き示すだけですから、戦争を行う者たちを地上から排除する霊力を行使することはありません。それはなぜか？ もし、この霊力を行使したならば、敵対するものを排除・抹殺しようとする人類と同じ方法（＝反真理的方法）を選択したことになるからです。反真理的方法を用いると、反真理的（＝秩序が崩壊^{ほうかい}した）世界が自動的に創造されてしまうのです。

彼は、戦争を行っている者たちを排除する反真理的方法を取るのではなく、【赤金律～紫金律】と言う、美しい「金律（真理）」の精神＝未来の第一霊（創造主）になるために身につけるべき資質を皆様に伝授すると言う真理的方法を取っているのです。

なぜなら、これらの真理的行為の実践を全霊体を選択することによって、真理的（＝平和で平等で調和と秩序のとれた）世界が創造されるからです。

回答は以上ですが、最後に一言。

我々霊界の全銀河霊の総意ですが、初代と、2代目第一霊の主人格となるネイム霊を見習って、私たちの前では全霊体が安心して寛げる、ペットのような癒し効果が提供できる、「ワン、わん、ワァーン」3代目第一霊を目指したいと考えていますので、地上の銀河霊である皆様もご了解くださるようお願いいたします。

Q16 霊界はどこにあるのでしょうか？

A16

シルバーバーチとバーバネル これも、私たちがお答えいたします。

霊界は、第一霊界、宇宙霊界、・・・・・・、想念界まで、それぞれの界層は繋がっているものの、霊体は、その霊格・霊力に応じた界層以下の世界にしか入ることができませんから、何人も上位の界層の様子を観ることはできません。

そして、各霊界の場所については、第一霊の指示で、たとえ霊界通信可能な者に対しても、地上の生命体には、絶対に明かさないことになっています。

それは、どうしてなのか？ 理由を説明してゆきます。

皆様のような地上の銀河霊（以下、「代表選手を、善半分悪半分の人生を送った A さん」とします）には、A さんが地上時代に、どのような心の文様で過ごし、どのような行動を取り、その結果、周囲の生命体に、どのような感情を抱かせたのか、DVD のような映像として、記録している者がいます。

これは、A さんの死後の霊界の行き先と、来世どのような姿・能力・財産で過ごすことになるのか（正確には、A さんが犯した罪を償うために A さんに代わって地上で修行することになった類魂銀河霊たちが、どのような姿・能力・財産で過ごすことになるのか）、本人を含めた全霊体が納得できる決定を、担当宇宙霊が^{くだ}下すためです。

記録の^{にん}任についているのは、A さんの弟子に当たる 1 名の（B）恒星霊です。そして、1 名の類魂銀河霊、あるいは、霊格が非常に高い銀河霊（＝【赤金律～紫金律】を健気に実践している者）には、1 名の指導的宇宙霊が守護霊としてついていますが、話を単純化するため、守護霊としてつくのは、1 名の（C）銀河霊として話を進めます。

なお、B 恒星霊は数年で、C 銀河霊は数十年で担当者が変わります。

A さんが地上での修業 or 生活を終え、死を^{むか}迎えると、肉体・^{ゆう}幽体・霊体の 3 層からなる^{からだ}身体は、肉体が地上世界に留まる形で、幽体・霊体の 2 層が分離し、幽体霊として目覚めます。

A さんは、幽界や霊界がどこにあるのか知らないため、C 銀河霊と B 恒星霊が A さんを幽界に連れてゆきます。幽界に入った A さんは、第一霊と宇宙霊たちが放射している愛と知恵と勇気と希望の善想念からなる^{あたた}暖かな光（のエネルギー）に迎えられ、このエネルギーを吸収しながら、幽界での生活をスタートさせることとなります。

では、どのような生活を始めるのか？

(⑩ 子供の年齢で亡くなった人は、大人になるまでに身につけるべき品格と資質を幽界の幼稚園「さくら組」で学ぶこととなります。)

① D 指導宇宙霊の元で、地上時代 A さんが、どのような心の文様で過ごし、どのような行動を取り、その結果、周囲の生命体に、どのような感情を抱かせたのか、が記録された DVD を見ながら、取るべき行動は何だったのかなどを、真理と摂理の働きを通して学びます。

② 幽界入りして間もない銀河霊たち（以下「新入生」）が集められ、E 指導宇宙霊の元で、共同生活がスタートします。

③ まず、

① 全生命体の幽体と霊体の活動エネルギーを生み出しているのは、第一霊と宇宙霊たちが霊界と宇宙に放射している、愛と知恵と勇気と希望の善想念からなるエネルギーであること。

② 全生命体は未来の創造主（第一霊）になるために、螺旋状の心の修行の階段を登っていること。

③ 効果的な心の修行は、【赤金律～紫金律】の反復実践であること。

④ 銀河霊たちは、罪を償い合う契約で結ばれているため、A さんが犯した罪の報い（天罰）を、霊界の銀河霊たちが代わりに受けていたこと。

などを学びます。ときどきカラオケを歌ったり、お絵描きしたり、犬掻きしたりと言った、余暇の時間を取りながら。

ちなみに、幽界と霊界には、遊園地も、公園も、美術館も、図書館

も、映画館も、コンサート会場も、ダンスホールも、演劇場も、落語や漫才やコントの会場も、・・・・・・もあって、しかも地上世界より遥かに充実（上層界ほど内容が進化）していますので、幽界と霊界での生活を楽しみにしててください。それと、これらの施設は、霊界で最初に生まれ、その後、幽界→地上世界の順に波及していったのです。これ、霊界通信可能者には常識です。

なお、霊界と幽界の娯楽映画や演劇等には、必ず霊格の向上を促す要素が含まれていますので、霊界→幽界→地上、に齎された映画や演劇等には、これらの要素が必ず含まれている筈で、かつ、必ずヒットしています。（だから、霊界通信力を身につけると生活が豊かになります。ただし、見返り（お金等）を求めると、お尻ペンペンされたうえ、霊界通信力は没収されます。・・・・・・キビシーィ！）

それと、参考までに、霊界でも酸素濃度測定器を作れますが、作っても、地上では機能しないのです。それは、霊界、幽界、地上世界では、波動が違うからです。上記で述べた娯楽施設等も霊界と幽界では機能しても、地上世界では機能しません。だから、作り方等を（幽界と）地上世界に伝達したのです。受信可能な地上の銀河霊の意識に働き掛ける形で。

④ 【赤金律～紫金律】が実践できるかどうか、新入生同士の共同生活の様々な場面で求められ、これらの善行（＝真理的行為の）実践によって、地上時代に犯した罪が、Aさん自身によっても償われま

⑤ 罪が概ね償い終えた者から順に霊界入りが許され、幽体を脱いで霊体の姿になり、三途の川を飛んで or 犬掻きで、銀河霊界に入っ

⑥ Aさんは、1000億の類魂と合流し、銀河霊界での生活をスタートさせます。

このような流れで、Aさんは死後、幽界→霊界に入ってゆくのですが、Aさんが地上時代に、「第4巻 第35章 1 第一真理・摂理と完全死」に書かれているような、

*

①聖人を暗殺したり、②罪なき民を苦しめたり、③罪を犯しながら自首することなく逃げ切ったり、④法廷で偽証したり、⑤人類の滅亡時期を予言したり、と言った、平和と調和と秩序を壊し、後世・良い子たちに著しい悪影響を残した者たち等、彼の怒りに触れた者たち

*

あるいは、「虹の掛け橋」を書いている彼の手を長時間止めた者であった場合、幽界・霊界入りが許されず、地上に残され、やがて活動エネルギーが尽きて、宇宙の塵と化す運命を辿ることになります。

このため、自力では、幽界と霊界に入れないように、これらがどこにあるのかは、地上の生命体には、明かされていないのです。

最後に補足しますと、宇宙の塵と化した者たちであっても、「第6巻 第50章 1 宇宙の塵と化した者たちのその後について」に書かれている経緯を辿って、犯した罪の程度によりますが、銀河霊界～想念界のいずれかの世界で復活することができます。

さらに、たとえ完全死した場合であっても、2代目第一霊によって復活させてもらえます。

もし、2代目第一霊の霊力をもってしても、復活できないほどの霊体であっても、我々3代目が必ず復活させて未来の第一霊（創造主）に導きます、ワン、わん、ワァーン。 回答は以上です。